

<概要>

英国の健康保護庁（HPA）は、2005年に民営化され英国放射防護庁（NRPB）と合併し、独立行政組織（NDPB:Non-departmental Public Body）となった。職員数は3,000人。ロンドンに本部を置き、ポートン、コリンデール、チルトンの三センターおよび地方局はネットワークを組んでいる。主な業務は伝染病、放射線および化学物質から国民の健康と環境を守ることである。また非常時に対応できる準備と組織がある。2008-09年の年間予算は280百万ユーロ、うち40%は外部資金である。放射線防護はチルトンにある放射線・化学物質・環境センター（Center for Radiation, Chemical and Environmental Hazards）の放射線防護部門が担当する。同部門には、リーズに職業被ばく部、グラスゴーにスコットランド環境放射線モニタリング所がある。

<更新年月>

2009年01月

<本文>

1. 設立の経緯

健康保護庁（HPA：Health protection agency）は2003年設立された。

2005年にHPAと英国放射防護庁（NRPB：National Radiological Protection Board）は合併し、独立行政組織（NDPB：Non-departmental Public Body）となって、関連機関と直接連携協力して業務を遂行している。

2. 業務内容

2.1 概要

健康保護庁（HPA）は、国営医療サービス（NHS：National Health Service）、地方当局者、関連機関、厚生省とその委託機関などに、一般人の健康管理に関する総合的な情報を提供している。

HPAの職員は3,000人。図1は組織の概要を示す。HPAはロンドンには本部を置き、ポートン、コリンデール、チルトンの三センターと地方局はネットワークを組んでいる。

2.2 組織の主な業務とセンターの組織

（1）評議員（HPA Board）

常勤と非常勤の評議員で構成される。目的、達成計画、官および民間資金の使途などを監督する。

（2）非常時対応センター（Center for Emergency Preparedness and Response）

センターはポートンにある。故意に引き起こされた病災等に対応する。また、伝染病の基礎と応用研究、ワクチン製造、療法の開発等を進める。

（3）伝染病センター（Center for Infections）

センターはコリンデールにある。伝染病予防のため、流行病の監視、専門家による微生物調査や疫学調査、病気発生時の調査、政府への助言、国際的な対応等を行う。

（4）放射線・化学物質・環境センター（Center for Radiation, Chemical and Environmental Hazards）

放射線防護部と化学・有毒物質防護部がある。以下3に詳しく述べる。

（5）総務・事務（Corporate Services）

情報部、庶務部、財務部、人事部がある。

（6）地域サービス（Local and Regional Services）

地域健康保護庁は、地域の流行病や非常時の対応について国営医療サービス（NHS）と協力する。また、関連する実験や試験などを監督する。

（7）地域微生物ネットワーク（Regional Microbiology Network）

2006年に英国健康保護庁（HPA）とは別組織になった。国営医療サービス（NHS）と英国健康保護庁（HPA）に最新の医療と健康に関する微生物情報などを提供する。8微生物研究所と37病院研究所が協力している。

3. 放射線・化学物質・環境センター（Center for radiation.Chemical and Environmental Hazards）

図2は組織の概要を示す。

3. 1 放射線防護部門（Radiation Protection Division）

チルトンに本部があり、リーズに職業被ばく部、グラスゴーにスコットランド環境放射線モニタリング所がある。

合併前の英国放射防護庁（NRPB：National Radiological Protection Board）の業務を引き継いで、電離放射線や非電離放射線に関する研究情報の提供および放射線計測、防護技術の改良、教育訓練、専門情報等の助言組織である。

また、ラドン情報の提供と指導、電離放射線と非電離放射線の助言、諸情報を提供する無線ローカルネットワーク（WLANs：Wireless Local Area Networks）などの活動もある。

3. 2 化学・有毒物質防護部（Chemical Hazards and Poisons Division）

チルトンに本部がある。また、チルトン、カーディフ、ノッテングラムに研究所があり、バーミンガム、カーディフ、エディンバーグ、ニューキャッスルにサービスセンター、カーディフにWHO協力センターがある。

政府や国営医療サービス（NHS）に水中、泥土中、廃棄物中の化学物質の毒性等の情報を提供し業務遂行に協力する。

4. 計画と予算

HPAは2005年の合併と民営化から、合理化および組織改革に加え、存在意義と専門性を強調し業務の重要性の公報に力を注ぎ、政府からの資金のほか、コンサルタント契約等による外部民間資金の導入を図っている。

2009年には行政と業務の合理化の観点から、国立生物標準制御研究所（National Institute for Biological Standards and Control）との合併が予定されている。

図3は2008-13年の5年計画のうち資金計画を示す。2013年には2008年の30%増の業務と資金を目指している。図4は、2008年度の予算配分である。計画の重要性を加味して、年度毎に配分は変る。

（前回更新：2004年3月）

<関連タイトル>

[放射性廃棄物の発生源・発生量と安全対策の概要 \(11-02-05-01\)](#)

[環境放射能安全規制の概要 \(11-02-08-01\)](#)

[欧州委員会 \(13-01-01-08\)](#)

[フランス放射線防護原子力安全研究所（IRSN） \(13-01-02-01\)](#)

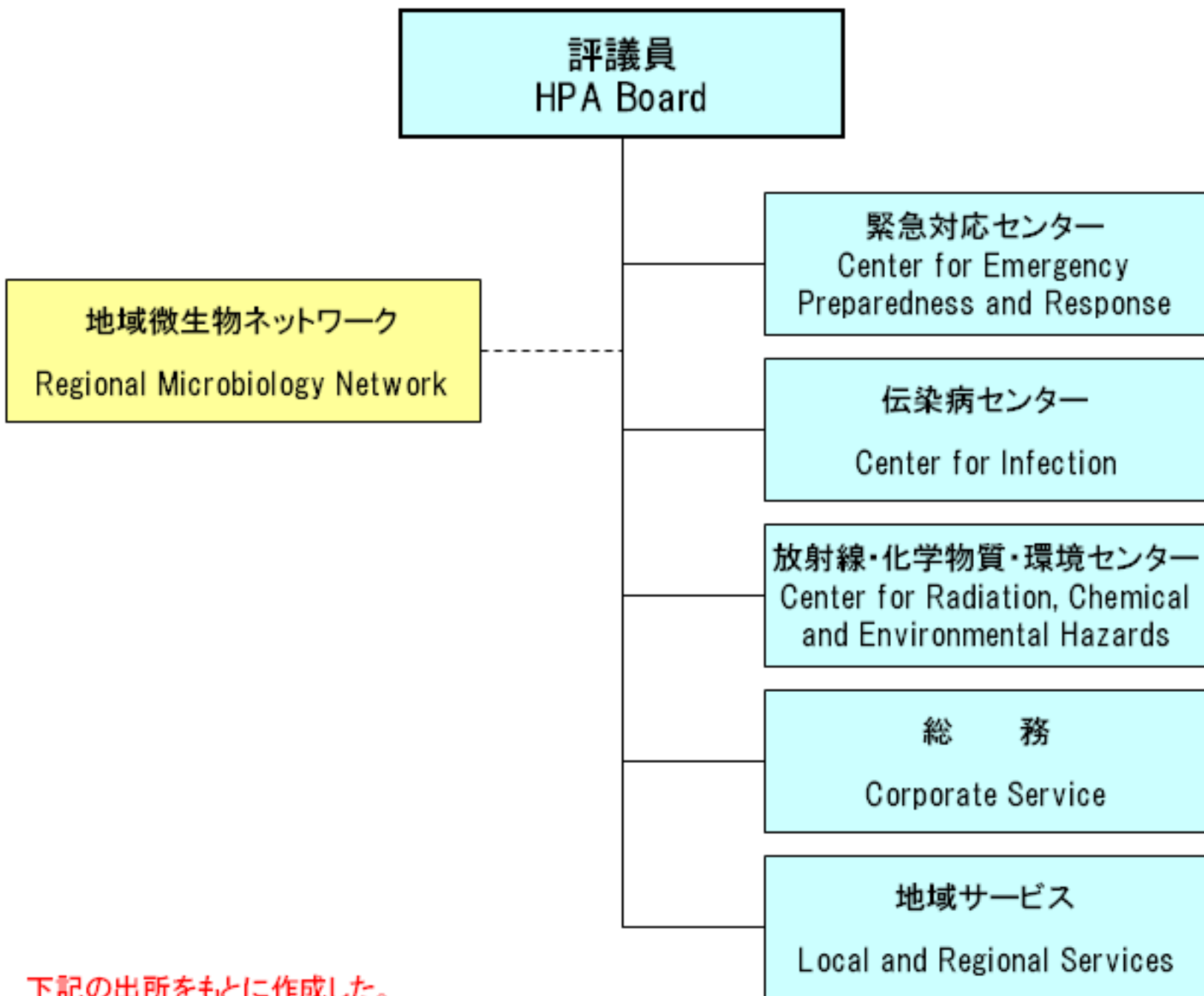
[米国環境保護庁（EPA） \(13-01-02-05\)](#)

[米国原子力規制委員会（NRC） \(13-01-02-06\)](#)

<参考文献>

（1）健康保護庁（HPA）ホームページ：About the HPA

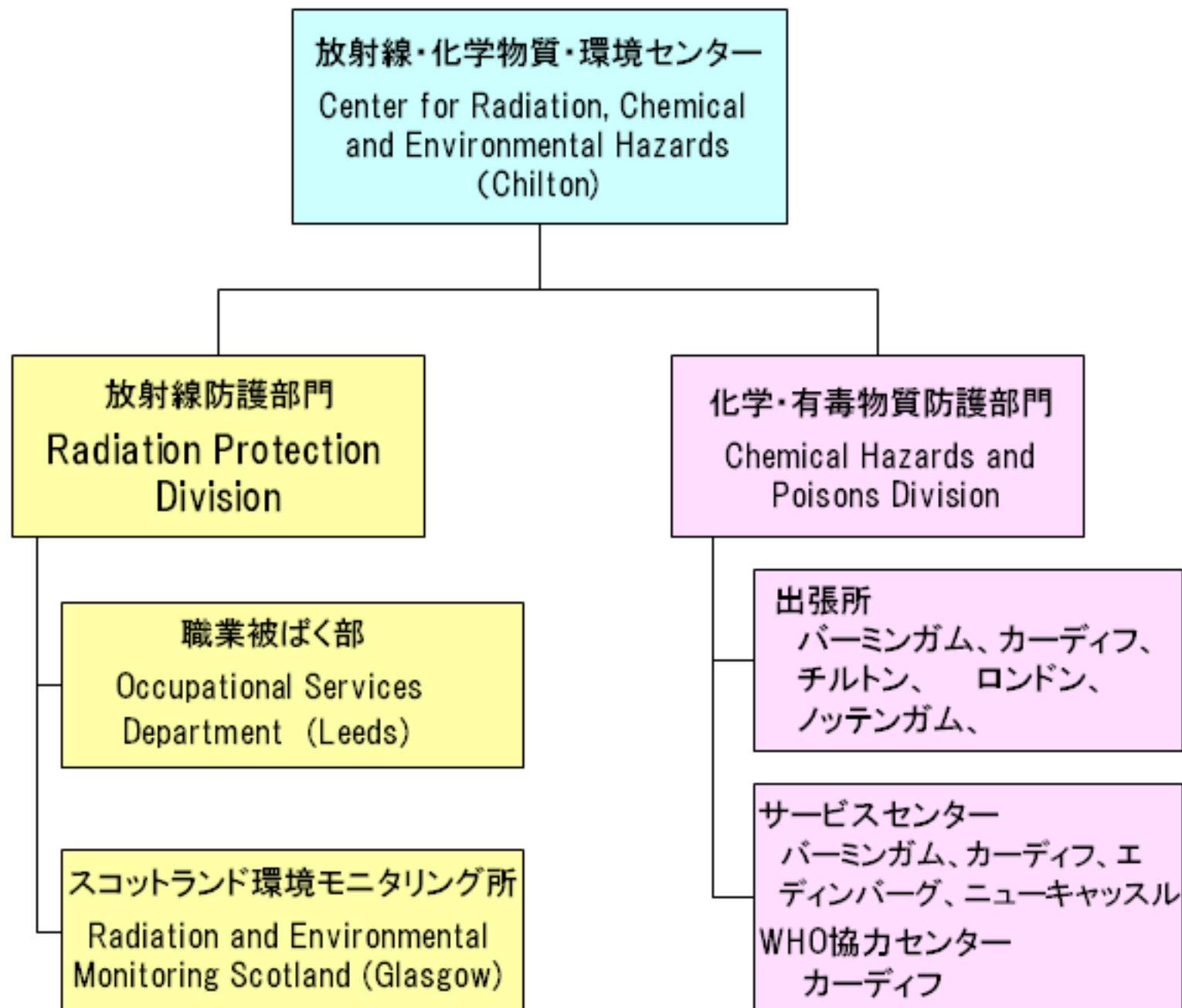
（2）健康保護庁（HPA）ホームページ：健康保護庁の戦略（Health Protection Agency Strategic Plan 2008-2013）



下記の出所をもとに作成した。

図1 英国健康保護庁(HPA:Health protection agency)の組織(2008年)

[出所]健康保護庁(HPA)ホームページ:<http://www.hpa.org.uk/webw/HPAweb&Page&HPAwebAutoListDate/Page/1153846674304?p=1153846674304>



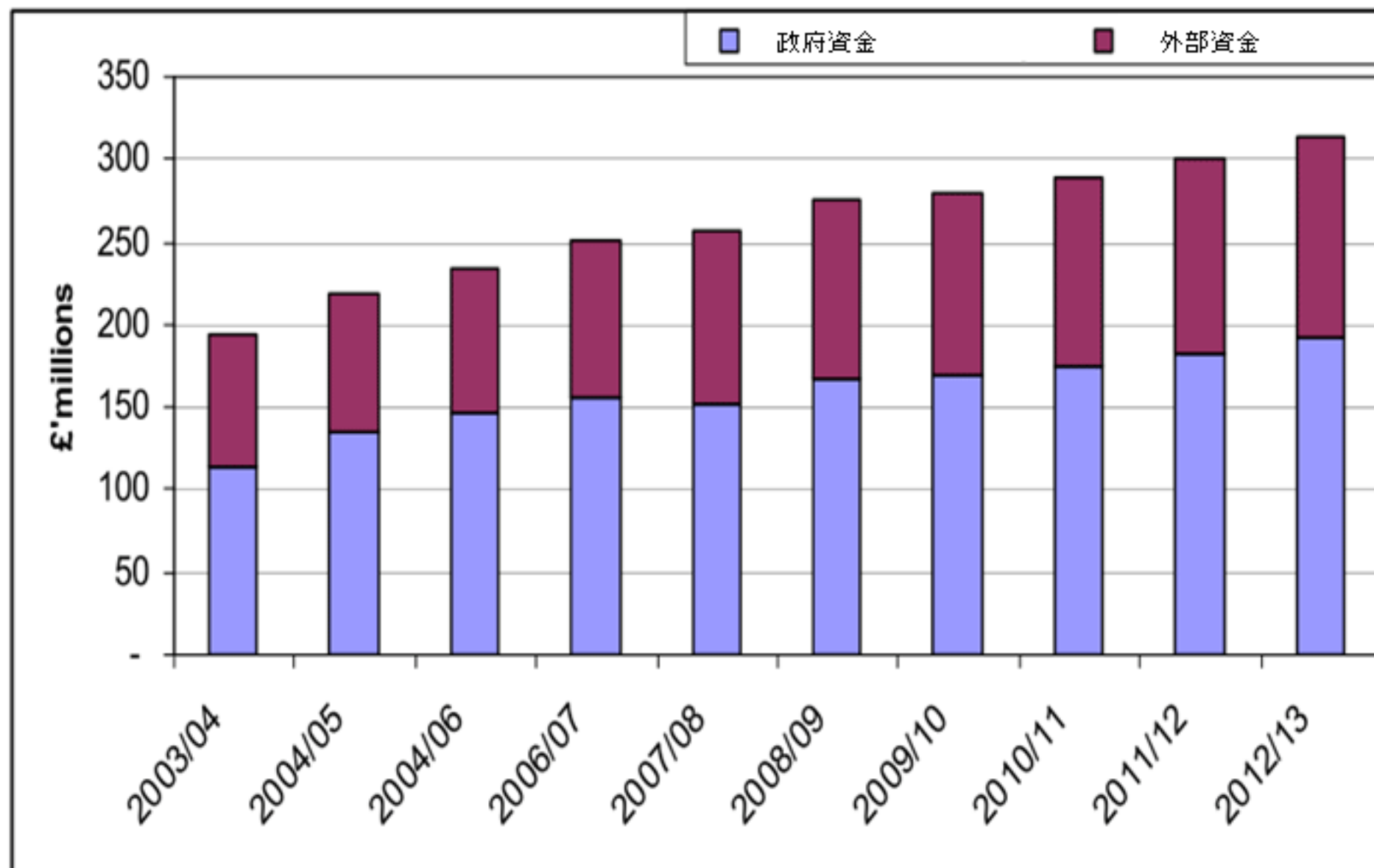
下記の出所をもとに作成した。

図2 放射線・化学物質・環境センターの組織(2008年)

[出所]健康保護庁(HPA)ホームページ:

(1)<http://www.hpa.org.uk/webw/HPAweb&Page&HPAwebAutoListName/Page/1222236702940?p=1222236702940>

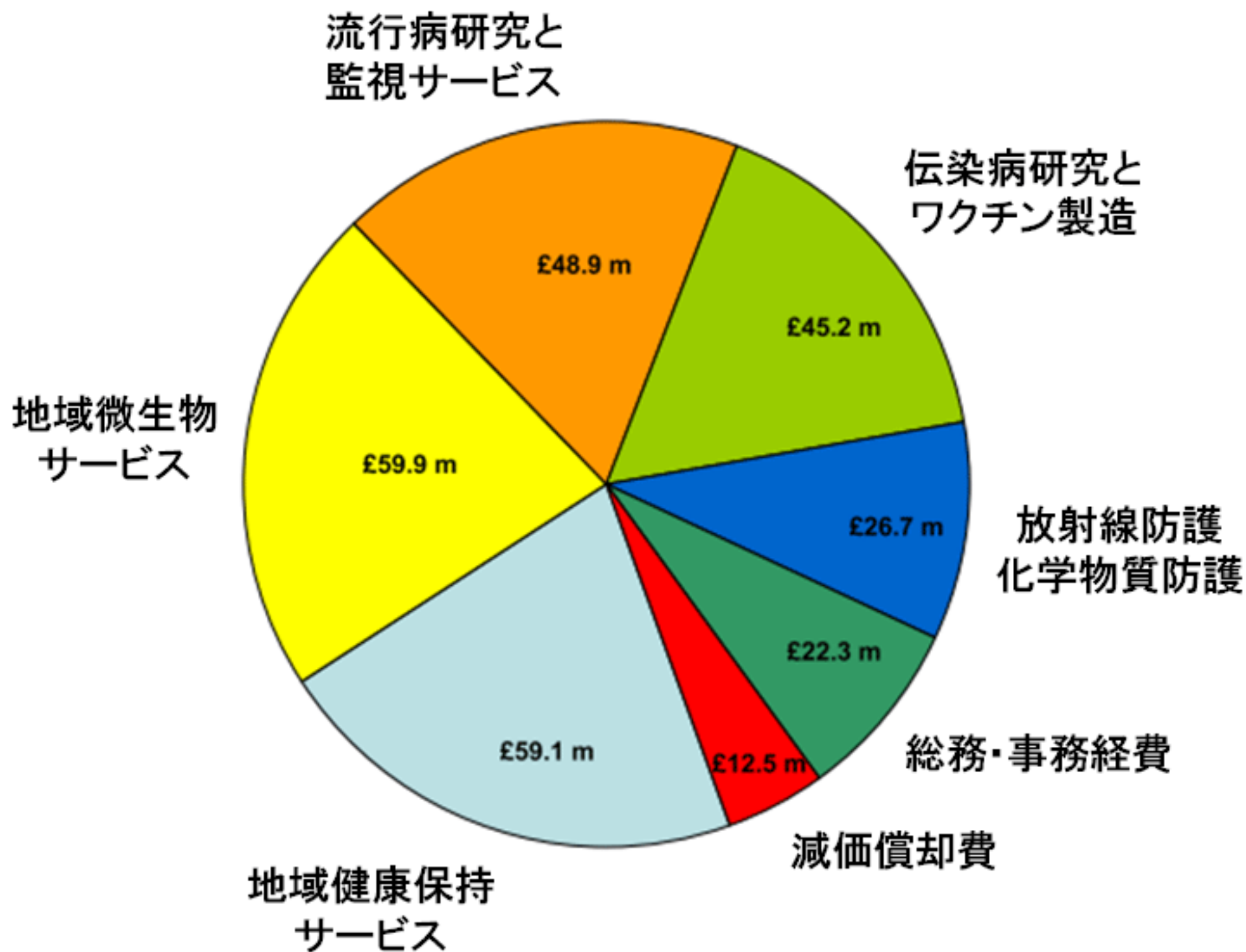
(2) <http://www.hpa.org.uk/webw/HPAweb&Page&HPAwebAutoListName/Page/1222236714369?p=1222236714369>



下記の出所をもとに作成した。

図3 英国健康保護庁(HPA)の資金、現状と計画(2008年)

[出所]健康保護庁(HPA)ホームページ:http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1227079324182



下記の出所をもとに作成した。

図4 英国健康保護庁(HPA)の2008／09年の予算配分計画

[出所]健康保護庁(HPA)ホームページ:http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1227079324182